

岩手県中小企業家同友会 第19回経営研究集会 from 滝沢

同友会の三つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自
と強靱な経営体をつくること
2. 同友会は、



第19回 経営研究集会開催

「中小“輝”業をめざして」

～混迷の中で私たちは今、何をすべきか～



よい会社をつくらう。よい経営者にならう。よい経営環境をつくらう。
岩手県中小企業家同友会 | <http://www.iwate.doyu.jp/> |

第19回 経営研究集会開催 「中小 輝々 業をめざして」 「混迷の中で私たちは今、何をすべきか」



今年満を持しての開催です。メインスローガンには「中小『輝々』業をめざして」混迷の中で私たちは今、何をすべきか」を掲げ、コロナ禍の中の新たな一歩をどう歩むか、参加者同士がじっくりと向き合い、深く考えた時間となりました。

基調講演には、福岡からオンラインで中小企業家同友会全国協議会幹事長 中山英敬氏（株）ヒューマンライフ 代表取締役）を迎え、今、中小企業に期待されているこ

2年ぶりとなる第19回経営研究集会 from 滝沢が11月26日（金）、アートホテル盛岡をメイン会場に開催されました。今回は初めてメイン会場と二戸市、遠野市の両サテライト会場、そしてオンライン会場を結び、108名の参加で行われました。

陸前高田市、紫波町と開催地をバトンリレーし、県北支部が設営を担当し滝沢市での開催を準備して迎えた昨年でしたが、感染拡大の中で延期となり、一年間の準備を経て



と」社員とともに社会課題にこたえられる企業に」をテーマにお話いただきました。また実践報告では「経営環境の変化を逆手に取った新事業展開」激変への対応と働きやすい環境を同時に実現する」をテーマに、(有)日野代表取締役 日野 亨氏（秋田同友会代表理事）に現状の企業実践について報告いただきました。

講演、報告の詳細は次号でご紹介しますが、今号ではお二人のまとめでのメッセージと座長のまとめをご紹介します。

中小企業家同友会全国協議会 幹事長 中山 英敬氏

このような状況下の中でも、集いかわり合い、励まし合うことの大切さを感じた一日でした。ここまで企画運営された県北支部はじめ岩手同友会の皆様、事務局にこうして実現できたことに感謝申し上げます。大変なときにこそ理念を社員としっかりと深掘りし、ぶれない軸を持つ。実践報告の日野さんからも生

き様を通じて、そのぶれない軸を体感させていただきました。決して諦めない。これだけ仲間がいる。制限が厳しくされる中でも、やはり人である以上、人としてかわり合い、学び合い、励まし合っていけば、特に社員とですが、どんな苦境があっても乗り越えられると確信を持ちました。

有限会社日野 代表取締役 日野 亨氏

コロナ禍の中で、覚悟を決めている余裕はありませんでした。ここまで雇用を続けることの難しさを感じたことはありませんでした。でもこの間、営業が全く出来ない中で気づいたことがあります。幸せはなるのではなく、幸せは



二戸サテライト会場

自分の気持ちで感じるものなのだ」と気づいたとき、自然と社員と取り組むことは見えてきました。

先頃新たに見直した行動理念に、「日々先読みのおもてなしお節介でありがとうを集める。」と掲げました。その中の一つに「事前期待を越える仕事をする」と書いています。よい仕事というのはお客様の事前期待を越えること。われわれはそこまでやるか、のプロフェッショナルチームです。」と書いてあります。やはり幸せは、仕事を通じてお客様、同僚にあてにされる喜びにこそあるのだと、あらためて気づかされた時間です。



座長のまとめ

(株)フードアトリエ

代表取締役 佐々木朋乃氏



座長の佐々木朋乃氏（左）

日野氏は「この状況下で、対面での食事が殆ど出来なくなり、滝に落ちていくような感覚に陥った」と話します。その中で、店の営業が難しい状況下でこそできることを、と社長塾を立ち上げ、社長自身が社員に直接語りかけ、学び合う時間を取ってきました。私が打ち合わせで伺う中で、日野氏はこう話されていました。「社員の人生と生活を守るという想いだけでした。みんなが仕事の中で幸せ

を実感できるにはどうしたらいいか。それにはお客様、働く同僚から認めて貰える喜びを実感できる会社であることなのだと思えます。実は同友会に入った頃、周りには素晴らしい会社ばかりで、他社に入った方が社員は幸せなのではないかと、思ったことも沢山ありました。でも縁あってここで出会った。であれば、私自身が変わるしかない。よい会社をつくるしかないと思ったのです。出会った以上幸せを実感できる人生をおくってほしい。そんな想いでこのコロナ禍の中で社長塾を立ち上げ、社員に伝えてきました。」

いかに自分をさらけ出して 生きることが出来るか

今回の研究集会での大きな気づきは、1つめは「経営者の共育ち」です。

私は常に社員のため、地域のため、未来のためと言い続けていました。自分の生き方や幸せとは何かを考えることを放棄し、「何のために経営するのか」を掲げてやってきました。しかしコロナ禍の中で、自分に限界が来てしまいました。私の思いは、「なぜ

自分だけが我慢しなければならぬのか。なぜ伝わらないのか。」これが自分の本心だと気づきました。そしてそれをさらけ出すことの怖さを感じていました。「一人の人間として自分の人生をどう生きたいのか。」ここに向き合うことで、経営者の覚悟と向き合えるのではないかと感じます。そしてそれは、多くの他人との関わりを通して気づくものなのだと思います。ここに本質があります。社長だけでは何もできません。共に時間を共有している社員と共にあること。それぞれの思う幸せとは何か、かかわり合いながら考える、共にという意味の深さを学びました。

実践しなければ何の意味もない

そしてもう一つは実践に関する考え方です。私たち経営者は社員に比べ圧倒的に学ぶ時間があります。しかし学んでいるでしょうか。店の営業

ができる中で、日野社長は社長塾を相当の時間をかけて実践します。反対意見もあつたとお聞きしました。でも実践し続けます。反対意見は意

見として捉え、それであればと手段を変え、行いました。想像してみてください。売り上げが蒸発し、飲食店には行けない、行かない。そしてその状況がいつ戻るのか。そもそも戻らない、といわれている中で社員と月に5日間、毎月毎月意識改革を行うことを続けてきました。

中山幹事長の話にもありましたが学びは実践してこそ学びなのであるということでも明日は忙しいから行わない。思い立って行っても徐々にフェードアウトして行わなくなる。単発の実践繰り返して、社員には忙しくてそれどころではないと言われイライラする。そんな経験はありませんか。学びは使わなければ、単なる知識で終わってしまいます。「何のために実践するのか。信念を持って実践すること。経営者の覚悟と実践の表裏一体になるのだ」と教えられました。

未熟だから共に実践する

日野社長は訪問したときに、何度も「未熟だから」とおっしゃっていました。私はこの言葉に救われました。人

は皆誰しも未熟だからこそ、一人では生きていけません。未熟だから共に学び、未熟だから共に考え、未熟だから共に実践する。学んでからやるのではなく、学びながらやるのです。

たとえ危機が目の前に現れても、それを機会と捉え、今それぞれが何に集中すべきか同友会の例会や委員会できづき合い、最後に自社に持ち帰り仲間と考え合いながら、目の前の課題に取り組み、互いがありがとうと言ひ合える仲間でありたい。弱さが目の前にあるときに、答えを教えてください。自分ではなく、自分で考えるきっかけをくださった皆さんに感謝いたします。



支部・地区・委員会ほつとライン

盛岡支部

私に関わる全ての人を
ハッピーにしたい

12月15日(水)カガヤ肴町ビルで盛岡支部12月例会がハイブリットで行われました。

報告者は、(株)齊藤光学製作所 代表取締役 齊藤大樹氏(秋田同友会)より「社員第一主義で考える組織運営」個を理解する重要性とはくをテーマにお話いただきました。

大学卒業後、大手化学メーカーに入社、2017年5月に(株)齊藤光学製作所に入社後、2021年9月に事業継承し3代目として代表取締役就任しました。

入社し、自分の仕事の価値を振り返る機会が多くありま



した。「どんな思いで仕事をしているの」こんな経営

者になりたいの」と問いかけをされる中で「自分は何のために生きているのか。何のために仕事をしているのか。」を考えました。「周りにいる人たちが自分と関わりを持ち、一緒に成し遂げた時に幸せだ」と思ってもらえた時、自分自身の存在価値を認識できると思いました。「私に関わる全ての人をハッピーにした

いな!」この言葉が齊藤氏の大きなビジョンになっています。

社員第一主義の会社経営に

9月1日に社長に就任し社員に約束したことがあります。働いている社員が仲間と一緒に良い製品をつくりたいと思うことができれば、お客様に良い製品、良いサービスを届けることができます。だからこそ社員第一主義で会社経営をしていくことを社員に約束しました。

社員には齊藤光学のために働くのではなく、齊藤光学を通じて自分の人生を豊かに、

そして幸せを実現するために日々の仕事をして欲しいと願っています。一人ひとりを見ることと理解することが重要。「豊かな人が集まる所には人が集まります。会社も同じだと思えます。」社員第一主義で取り組んでいる齊藤氏の報告でした。

宮古地区準備会

やっぱり顔を見ながら

何でも話せるのが同友会

12月17日(金曜日)、宮古地区準備会が宮古市民文化会館で行われました。以前は宮古支部として毎月例会を開催し、活発な活動を続けてきました。が、10年前の東日本大震災での被災で一時支部活動を休止し、盛岡支部の所属する形で情報交換を続けてきました。

沿岸の交通網が整備され、南は陸前高田から北は久慈まで一本の道路でつながったことから、今月から支部地区活動の再開を視野に準備をスタートしました。

地元宮古から参加した、し尿汲取り・廃棄物の収集運搬など生活に深く関わる仕事を

担う(有)ニコニコ総合企業 代表取締役 大崎博晃氏から歓迎の挨拶では、「経営を学ぶ場は多くあっても、本音で様々な悩みを語り合ったり意見交換をする場は、貴重な機会。地域の企業がこうしてかわり合う時間がつくれば」と、今後への期待を話しました。

続けて行われた大崎氏の近況ミニ報告では、岩手大学の大学院に中国から留学し研究を続けている学生が、「宮古地域の一般ゴミや廃棄物の収集運搬や分別、資源循環について実際の現場を体験したい」と一週間のインターンシップに訪れたことが話されました。

学生を迎えるにあたって、あらためて自社の経営指針を見直したことで、そして何よりも現場の社員にとって大いに刺激になり、自分たちが日常取り組んでいる仕事に誇りを持って向き合うことができた貴重な経験だったこと。また

宮古市に相談したところ、最終処分場まで見学させてもらえることになり、金属を丁寧



に分別している作業を見て、大崎氏ご自身にとっても、回収した廃棄物が大切に扱われていることをより強く感じた時間だったことなど、コロナ禍の中で外部との接触が少ない中で、皆さんにとって、かわり合いながら学び合うことの喜びを実感した体験となった様子でした。

今回は県北支部から水戸谷完爾氏、紫波花巻支部から瀬川峰雄氏、気仙支部から熊谷秀明氏と、3支部が県内各地から応援に駆けつけ、久々に顔を見て声をかけあい盛り上がった例会となりました。

2021

中堅幹部・幹部社員共育講座

日常の人間的なかわり合いにこそ、成長の原点がある

12月14日(火)、社員共育委員会主催の2021中堅幹部・幹部社員共育講座の第4講、最終講を終了しました。中堅幹部・幹部社員が経営者とともに企業をとりまく課題について共通の認識を持ち、互いにもっとも信頼できるパートナーとして成長し合う関係をつくることを目的とし、10月から4つの講座を行ってきました。

2021年の講座は初めて、オンラインの利点を生かし、福岡同友会専務理事の川畑義行氏や中小企業家同友会全国協議会事務局長の斉藤一隆氏をお迎えし、30年を超えるご自身の同友会運動への関わりからご自身の体験談をお話いただく講座を準備しました。



第1講では、「企業をとりまく現状をつかむ」をテーマに鳥の目と虫の目で

社会全体を捉えること、世界と日本、地域の実状を正確に見ることの大切さを学びました。また第2講では「混乱の中からあらたな仕事をどう生み出すか」をテーマに(株)高田自動車学校取締役会長 田村 満氏から、コロナ後の新たな企業の展望、社会課題解決へ向けた新事業の可能性を探りました。

また第3講では、「経営者と幹部社員が共に豊かな人生を実現するために」(人間力経営)をテーマに、一人ひとりがいかに自分の人生にも仕事への取り組みにも正面から向き合い、関わりあっていくか、を福岡同友会専務理事の川畑義行氏の報告から学びました。

そして今回の最終講「持続可能な企業であり続けるための条件とは」(全国の教訓に学ぶ)をテーマにした斉藤氏の講義は、「よい会社とは」「21世紀型中小企業とは」という、日頃同友会の会員同士が例会で学び合っている本質を、全国の企業の実践事例からわかりやすくお話いただきました。

参加した幹部社員、経営者からは、「日常の社内のかかわり合いに原点がある」「私たちが地域の暮らしを支えている誇りが持てた」などの感想があり、それぞれに人生にとってかけがえない大切な時間となりました。

第2回 いわて復興未来塾

震災10年 ふるさと岩手・三陸の創造

岩手県主催の「第2回いわて復興未来塾」震災10年 ふるさと岩手・三陸の創造」が、新しく建てられたばかりの陸前高田市民文化会館・一本松ホールで行われました。今回は初めて「大震災時に地域の中小企業がいかに活躍し、地域の暮らしを守り再興してきたか」に、スポットライトがあてられ、岩手同友会から3人が登壇しました。

基調講演では「震災10年。地元紙から見たこれからの復興」をテーマに、(株)東海新報社 代表取締役 鈴木英里氏が講演に立ちました。鈴木氏は、当時は報道の現場に記者として立ち、人々の暮らしの実状や声をつぶさに新聞紙上で発信してきました。「あのとき10才だった子どもたちももう20才。こんなに成長しました」と紹介された映像には、当時の幼かった4人の子どもたちが、今では社会人としてしっかり両足で立っている姿が紹介され、会場からはその姿への感動の声が上がりました。

続く座談会は、「中小企業の連携と復興の力。あの日の気仙から未来の街づくりへ」をテーマに(株)八木澤商店 取締役会長 河野和義氏と、(株)高田自動車学校 取締役会長 田村 満氏がパネリストとして登壇しました。

河野氏からは震災前から先駆者として取り組んで来た地元学についてや、大鼓フェスティバルを通じた全国との心のつながりを。田村氏からは岩手同友会が震災直後から全国の同友会に支援いただき行ってきた約200箇所の避難所へのオーダーメイド配達、そして今年オープンしたばかりの発酵パーク「カモシー」に込められた想いや今後の展望についてもお話いただきました。

達増知事は「今日初めて聞いた話が沢山あり、こうして地域を訪れ、それぞれが当時大切に取組んだことを丁寧に聞き続けていくことがいかに重要なことか実感した時間だった」と話し、今後の継続して開催していくことをあらためて確認した復興未来塾となりました。



ドイツからの風



池田憲昭氏

プロフィール
1972年長崎県生まれ
岩手大学人文社会科学部(ドイツ文化専攻)卒業、フライブルク大学森林環境学ディプロム課程(修士相当)卒業
フライブルク地域を拠点に、ドイツ環境視察セミナーのオーガナイザー、異文化マネージメントのトレーナー、企業サポーター、日独プロジェクトのコーディネーター、専門通訳、ジャーナリストとして活躍されています。2011年9月Arch Joint Vision社を設立 現代表。

競争より協力を！

雨にも負けず

風にも負けず

雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫な体を持ち

岩手の風土が生んだ偉人・
宮沢賢治の代表作の
書き出し部分です。

私は、岩手大学在学期間中、花巻市の宮沢賢治記念館やその他ゆかりの地を訪問し、いくつかの作品も読み、詩人、作家、科学者、宗教家と多彩な顔を持つ偉人に、自分なりに対面しました。

その対面の過程で、素直に吸収し、感銘できる部分と、何か受け入れられない、自分の心が抵抗する部分がありました。今でもそうです。宮沢賢治を敬愛する岩手の人たちには怒られるかもしれませんが、それを承知で、私の正直な見解を書きます。

この有名な詩を印象付けている言葉は「負けず」です。宮沢賢治は、人間が、雨や風、雪や夏の暑さという物理的な気象現象に対抗して、勝つか負けるか、ということを表現しているではありません。「負けず」とは比喩的な表現で、別の具体的な言葉に置き

換えると「耐える」という意味になると思います。では何故に、宮沢賢治は、素直で具体的な「耐える」という表現ではなく、比喩的な「負けず」というフレーズを用いたのでしょうか？

「勝ち負け」というのは、人間社会の古くからの関心事です。部族や地域や国の間で、「勝ち負け」に拘る争いや「競争」は、今日まで、絶え間なく続いています。家族や小さなグループの中でも、兄弟姉妹間の競争、同僚やライバル同士の競争などがあり、その結果として、勝者と敗者が生まれます。18世紀末から欧米で始まった産業革命以来、世界に拡散し浸透した資本主義市場経済は、人間社会の大きな関心事である「競争」を大きな原動力として稼働し、発展しています。産業革命の真つ只中、19世紀半ばに、世の中に大きな衝撃を与えたダーウインの『種の起源』は、生物進化の原動力として「生存競争」と「自然淘汰」を挙

げています。ダーウインの進化論は、「競争」を経済発展の原動力とする資本主義市場経済を、科学的、思想的に大きく後押ししました。

宮沢賢治が生きたのは、欧米に追いつけ、欧米を追い越せで、日本の近代化が急速に進んだ時代でした。近代化以前の日本の封建社会からあつた「勝ち負け」の価値観や風土に、産業技術と一緒に「輸入」された資本主義市場社会の「競争」の原理が加わり、融合・強化された時代です。

宮沢賢治は、そのような時代の流れと風潮に疑問と不安を抱き、日本の田舎に古くから息付く、自然を受け入れ、自然と調和した素朴な生き方、考え方を唱えた人だと、私は理解しています。その彼が何故、比喩的な使い方でありますが「負けず」という競争に関わる言葉をここで使ったのか、というところに、私が素直に受け入れられない、心の抵抗が生じるものがあります。ではこれが「耐える」という率直で具体的な表現だったかどうか？ 私は正直、まだ抵抗があります。何故に「耐える」必要があるのか、と考えてしまいます。「耐える」は、ポジティブに捉えると「謙遜」や自然への

「畏敬の念」かもしれませんが、私は何か「卑屈」なものを感じてしまいます。厳しい自然とその物理現象をそのまま受け入れて、それを逆に楽しむくらいの心の持ち方の方が、精神衛生上も健康で、サステイナブルじゃないかと。

ダーウインは、画期的な理論を構築して世の中に発表し、近代科学と近代社会の発展に大きなインパクトを与えました。しかし彼は、「競争」という、自然界の原則の1側面だけに焦点を当て、現代科学が明らかにしているもう1つの側面である「協力」の原則を、ほぼ完全に見落とししていました。

現実の自然界は、「競争」よりも「協力」のほうに遙かに大きな重きを置いて機能し、進化しています。ダーウインズムの「競争進化」ではなく、「共生進化」です。競争は、人間も含め、多くの生物種にとって、不得意分野です。企業や団体の運営においても、「競争」より「協力」の原則を活用したほうが、上手いきますし、雰囲気もよくなり、サステイナブルなイノベーションも生まれやすくなります。岩手県中小企業家同友会で、みなさんも、日々感じられていることではないでしょうか？



謹賀新年

昨年中は大変お世話になりました。
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

Happy New Year 2022
本年もよろしくお願ひします。

GO INTO ACTION
定常運転のしくみ

信幸プロテック株式会社

My precious vehicle car

安心して快適な暮らしを守り続け車社会の文化的未来を創造します

有限会社 **小川原自動車钣金**
岩手県盛岡市土淵字谷地道118-1
TEL 019-647-0390

まごころみるく
Magokoro Milk

健康と元気をお届けします!

(株)エムティワン まごころみるく
盛岡市東見前4地割4-1-2
TEL 0120-64-4139

Garden & Exterior
株式会社 **仙北造園**
〒020-0861 岩手県盛岡市仙北3丁目17-15
TEL(019)613-5901
FAX(019)634-0116

全ては、豊かな心のために

http://senbokuzouen.com

前沢で免許を取ろう

子供たちの未来に希望と安全を
高齢者にはやさしく
みんなの願ひ
ルールとマナーで幸せづくり

前沢自動車学校

☎ (0197)56-2131 前沢自動車学校 検索
前沢自動車学校ホームページ

奥州市前沢字河ノ畑175 (国道4号線・河ノ畑交差点)

塗装 板金 大工

3つの視点からご提案します!

私達はただの「工事屋」ではありません。「自社職人で幅広い工事を行う」という意味で他の塗装業ともリフォーム業とも異なる、地域で唯一の存在です。

川上塗装工業株式会社

岩手県盛岡市三ツ割3丁目2番11号
TEL 0120-68-7755

とそうでまちつくろう 検索

新刊紹介!

中小輝業への道
~就業規則と「働く環境づくり」で成長する~

中小企業家同友会
全国協議会 監修
働く環境づくりプロジェクト
チーム著

A5版 約280頁 定価2,750円
(本体価格2,500円+税)

☆お求めは岩手同友会事務局まで!



北緯40度、
ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち
岩手県葛巻町
わたしたちは、ここでワインを造っています。

くずまきワイン

KUZUMAKI

株式会社 岩手くずまきワイン 岩手県岩手郡葛巻町江刈1-95-55
TEL0195-66-3111 FAX0195-66-3112

素心知困

第19回経営研究会での座長のまとめは、最近のオンライン例会では感じられなかった渾身(こんしん)の迫力でした。▼先行きがまったく見えない中で、社長として担う責任感は、自分をも押しつぶしてしまうほどのもの。つい「なぜ私だけがこんなに苦勞をしなければならぬのか」という感情をぶつけてしまったことに、自責の念もあつたと話します。▼社内の研修として、店の営業を休んでもらい社員全員で迎えた研究会。その場で社長が、自分が思っていた本音を晒すことは、どれだけ勇気がいったでしょうか。▼「何もない、できない自分を隠さずにありのままに見せて、目の前の課題を一緒に考える。」周りは変わらないのに、勝手に壁をつくっていたのは自分だったのだと気づきます。▼「未熟だから共に学び、未熟だから共に考え、未熟だから共に実践する。学んでからやるのではなく、学びながらやるのです。」言葉は違えど、今回登壇した全員に共通した信念。寅年を迎える新年へ向けた励ましのメッセージに聞こえます。

■本紙掲載の例会や諸事業には、所属支部に関係なくどこにでも参加できます。ご連絡下さい。
 ■例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。
 ■本紙掲載事業への出入返信は、同封のファックス返信用紙またはe.doyuをご利用下さい。

TUENO

包装設計のプロフェッショナル「東北ウエノ」は「適材適包」でお客様をサポート致します。

「PACKAG ENGINEERING」

詳しくはホームページで <https://www.touhokuueno.co.jp/>

株式会社東北ウエノ

〒021-0893 本社：一関市地主町3-35 TEL0191-21-4531
 テクニカルセンター：一関市地主町7-15 TEL0191-32-5020

[輸送包装便覧.com](http://transport-package.com) <https://www.transport-package.com/>

人と自然にやさしい環境を創り地域型企业として貢献します。

岩手日化サービス株式会社

〒020-0402 盛岡市黒川 22-56
 TEL 019-696-5611 FAX 696-5614

岩手日化サービス株式会社
 〒020-0402 盛岡市黒川 22-56
 TEL 019-696-5611 FAX 696-5614

物を大切に環境にやさしくしたい 使わない人から使いたい人へ
 総合リユースショップ **Doki-Doki 2nd STREET**

(株)トータル・リユース

代表取締役社長 **伊瀬 幸郎**
 ise yukiro

本社 〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2-2-33
 TEL: 0193-21-2126 FAX: 0193-21-2127
 携帯 090-8780-3296
 E-mail: trise@arion.ocn.ne.jp

Southern Iwate DSG
 サザン岩手ドライビングスクールグループ
 Southern Iwate Driving School Group

陸前高田ドライビングスクール 三陸技能講習センター
 RIKUZENTAKATA DRIVING SCHOOL Sanriku skill training center

平泉ドライビングスクール 遠野ドライビングスクール
 HIRAIZUMI DRIVING SCHOOL TOHNO DRIVING SCHOOL

携帯サイトはこちら
<http://www.si-dsg.com/>
 /mobile

DOYU
 2022 Vol.156
 2022年1月1日発行
 発行/岩手県中小企業家同友会
 広報委員会
 〒0200878 岩手県盛岡市着町4-15 カガヤ着町ビル3F
 TEL019-626-4477 FAX019-626-1644
 Mail: info@iwate.doyu.jp

オリジナルラベル
ワインを作成します

周年記念、御中元、お歳暮、ノベルティ等

SHIWA 社名ロゴ写真OK 包装のし無料 12年以上作原料無料
 自園自醸ワイン紫波 岩手県紫波町産ぶどう100%

お申し込み・お問い合わせ
Tel. 019-676-5301

自園自醸ワイン紫波 (株)紫波フルーツパーク
 〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山山松原1-11

ゆたかな幸せのために、より良い環境創りで真の循環型社会を目指します。

浄化槽保守点検 植物 光触媒 CO2 エネルギー節約 BDFの製造・販売 BDF燃料

紫波環境株式会社

岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口70-1
 TEL:019-672-2656 FAX:019-601-2686
<http://shiwakankyo.com/>

し尿・浄化槽汚泥収集運搬

めだか

有限会社いわてにつかコミュニティ企画

(事業内容) デイサービス/生活介護/訪問介護/住宅型有料老人ホーム
 児童デイサービス/相談支援事業所/訪問看護/就労継続支援B型

節電は経費削減につながります!

オフィスの照明を見直し、経費削減を実現しませんか?
 お客様のニーズに合わせたLEDソリューションをご提案します。

長寿命 消費電力カット CO2削減 発熱が少ない

現場調査から取付工事まで、すべて平金商店へお任せ下さい!
 LEDに入れ替えた場合のコストシミュレーションも可能です。
 ぜひお気軽にご相談ください。

株式会社 **平金商店** TEL:019-624-2121